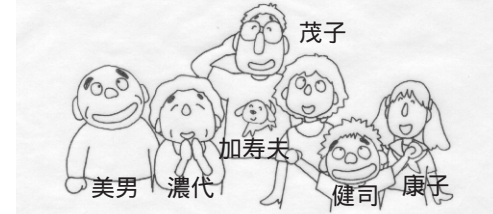


美濃加茂健康ファミリー



第三十七話

歯みがきの習慣を...

康子「ねえ、おかあさん。ちよつとみてみてえ。はやく。」

茂子「何？、どうしたのそんなに急いで...」

康子「今ね、歯磨きしてたら、奥の方が少し黒くなってたんだ。これってなんなの？」

健司「うわあほんとだ。少し黒いぞあ。」

茂子「ちよつとよく見せて。ああ、康子、これ虫歯だわ...。はやいとこ歯医者さんにいかんといかんわ。」

康子「ええ、歯医者なんてやだあ。だって、全然痛くないんだもん。」

茂子「やだあや、ないわあ。今痛くなくなつて、このままほつておくとどんどん痛なつてまうよ。」

康子「ええ...」

子どもの歯は大人の歯より、虫歯の進行も早く、ちよつとの間で驚くほど悪化します。ですから、間食には虫歯の原因となる砂糖をたくさん含んだお菓子や、歯にくっつきやすいもの（キャラメルやチョコレートなど）を避け、甘味の少ないお菓子や果物を選んでいただくとういでしょう。また、だからだらおやつを食べることも虫歯になりやすくなりますので、時間を決めておいた方がよいと思います。

自覚症状がなくても、定期的に検診を受けて歯の健康状態を知っていただくことも大切ですので、子どもだけでなく大人の方も定期健診を受けてみてはいかがでしょうか。

だえん

生きる力、思い

子どもの力の中には、人を信じたい、人と関わりたいという「思い」があります。これは、人間らしく生きるために、誰もが持つて生まれた力です。

市内の乳幼児期家庭教育学級で出会う子どもたちをみてみると、この「思い」は、とても早くから芽生えることに驚かされます。

生後三カ月のまだ首もすわらないころから子ども同士、仲間に関心を持ち、その行動を目で追っています。四カ月ころには、人のあやしかけに十分応え、期待までするのです。

そうして、微笑みかけたり、声を出して人と関わろうとします。その後、まだ自分で座ることもできないころでも、物のやりとり、取り合いが始まりますし、子ども同士笑いあったり、同じことをしては共感しあう姿さえみられます。

十分に人と接してきた赤ちゃんは、もつと関わりたい。「思い」がふくらみ、やがて「あの人が好きだなあ」「同じことがしてみたいな」「人間っていいなあ」という温かい感情で胸がいっぱいになります。（だから、小さくても、人に接した時の子どもの表情に大きな差が出てくるのではないのでしょうか。）

この温かい感情、これが生きていく上で一番大切な力になるような気がします。「人が好き、自分はこうしたい、人にしてあげたい...」幼児期・児童期に、家族のために働く子どもの姿などは、赤ちゃんから積み重ねられてきたこの感情が土台にあるのです。小学生になって、自立や積極性を求めても無理なことです。これは、ある日突然、身につくものではないのです。

自分でしたいという自立への強い「思い」と、人と関わりたいという「思い」、これら二つの「思い」...。それは、乳幼児のころ、誰もが持つていく大切なもの。

私たちは、生きる力の基になるこの「思い」を大切に育てていきたいと考えます。そのためには、親の役割だけでなく家族・地域の大人として何ができるかを考える必要があると思います。

ひまわり 言葉

安心して飲める水を

先日来、井戸水の汚染が新聞で大きく報道されました。よそのことかと思つていたら、なんと私が住んでいる美濃加茂市でも、汚染されているとありました。

井戸水ばかり問題にされていますが、本当は私たちが生活する環境が汚染されているのではないのでしょうか。

話に聞くと、ある市では農薬による土壌汚染がわかつたとか。わが家でも、雑草を抜くより簡単なので除草剤をまきますが、先の新聞記事などを読むとやはり怖いですね。わが家には小さい子どももいます、これからは気をつけたいですね。

(太田町 Kさん)

野外での草の焼却について

野焼きが禁止されたと思ひ安心していたのですが、畦草は例外とか。

私の住んでいる地区でも、5月に入り田植えが始まつたと思つていたら畦草を燃やし始められました。刈り取られたばかりの草は、燃えにくいためふすぶり、くさい煙がわが家の庭先まで来て、洗濯など干している大変です。

農家には農家の言い分があるかと思ひますが、草も乾燥させてから燃やされるとか、燃やされる時間帯を夕方にするとか工夫していただけるとありがたいですね。

(太田町 Iさん)

4月1日号のひと言について

4月1日号で、市民からの意見がありました。そのことについてひと言かせてもらいます。私も、

6年ほど前こちらに転入してきました。現在住んでいるところに対する価値観の相違から、いろんな意見があるのは事実です。

でも、私は子どもを育てやすい環境だと思ひます。今一度、周りを見てみたらどうでしょうか。せつかく住むのであれば、楽しく住むことを考えた方がいいと思ひます。

(本郷町 Sさん)

広報にご意見を

現在、市では「広報みのかも」のリニューアルを計画しています。

時代が大きく変わろうとしているなかで、市民参加のまちづくりを推進するた



あなたの身近な話題やうれしかったこと、腹がたったこと、「広報みのかも」を読んだ感想や、特集として取り上げてほしい内容など、気軽に電話やはがき、ファックスまたは電子メールでお寄せください。(広報誌上は匿名で掲載しますが、住所・氏名・電話番号は必ず、お知らせください)あなたの声をお待ちしています。

〒505-8606 美濃加茂市企画部総合政策課広報係
でんわ 0574-25-2111(内線239・241)
F A X 0574-28-1290
電子メール kouhou@city.minokamo.gifu.jp

総合政策課

めには広報紙として何ができるのか、みなさんと一緒に考えてみたいと思ひます。

現在の広報に対する意見、掲載してほしい内容など率直なご意見を左記までお寄せください。お待ちしております。